



清中だより

手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬

【電話】042-493-6311

【所在地】〒204-0003 東京都清瀬市中里 5-624

もうすぐ夏休み

校長

梅雨まっただ中です。このところ大雨が続いておりますが、学校では期末考査も終了し、夏休みに向けての準備の時期を迎えています。と言っても3年生の修学旅行が9月4日（水）から予定されておりますので、生徒たちの意識は夏休みの準備というよりも、すでに2学期の準備と言ったほうが正しいかも知れません。

さて、私が生徒たちを修学旅行や校外学習に引率する時にいつも思い起こす出来事があります。それは昭和55年（1980年）8月14日に起こった富士山の落石事故の際の出来事です。今から35年前のこの落石事故は、死者12人、重軽傷者29人という大惨事でした。当時の新聞記事によると「頂上近くから直径一～二メートルの岩石五、六十個が、標高差千メートル以上の斜面を地響きをあげて落下、数珠つなぎになって下山中の人たちを次々となぎ倒した。」とあります。しかし、落下してくる多くの岩をかわして奇跡的に助かったご家族がいるのです。

当時の新聞記事をそのまま引用します。

「危うく助かった人もいた。七合目を下っていた精密機械業、〇〇〇〇さん（注・報道では実名。以下同）（三八）＝山梨県大月市＝の親子三人。〇〇さんは、妻〇〇さん（三二）と長男の小学三年、〇君（九つ）の三人で、横一列になって下っていた。突然、上の方で「石が落ちるぞ」と騒ぐ声。同時に、もやの中から大きな石が飛び出してきた。横一列は危ないと思った。上から妻、小学三年の〇君（九つ）と上方を向いてタテに並べた。落石を確かめながら、「それ、右」「それ左」と叫ぶ父に合わせて、家族は跳んだ。ピューッと顔の横を石つぶてが走る。数分間。右、左、右、左。まわりには、血だらけな人がふえていく。血だらけの子を抱える父親。「こわいよう」と泣き叫ぶ子。〇〇さん一家は石をかわし続けた。小石は足腰に当たった。〇君は、跳びながら母の右手を強く握っていた。石が去って、跳ぶのをやめたとき、その手が痛かった。」（昭和55年8月15日朝日新聞より）

このような大災害に遭って、このご家族は生還しました。運がよかったという見方もあるでしょう。しかし、もしこの家族が勇気をもって落石に立ち向かわなかったら、このような奇跡は起こらなかったと思うのです。突然の出来事に襲われてもパニックに陥らず、状況を判断して対応策を考え、実行する冷静さ。そしてなにより、とっさの行動であっても心をついにし、互いを信じて一糸乱れぬ行動を実現した信頼のきずな。そういったことのどれか一つでもなかったら、この奇跡は起きなかったと思うのです。

本校の生徒が行く修学旅行や校外学習にこのような危険な場所はありません。しかし教員は引率に際して、予期せぬ出来事に遭遇した場合にどういう行動を取るべきか、いつも自問自答しています。そして万が一の時に生徒がパニックに陥らずに危険を回避するため、集団としての力量を普段からどこまで身に付けさせておくべきかを考えています。

がむしゃらな勇気は蛮勇ですし、個人の解釈や判断で思い思いの行動をとってはいけません。集団行動は成り立ちません。と言って大人が何から何までお膳立てをしては、生徒の主体性や協調性は育まれません。家庭には家族のきずながあり、学校には集団のきずな、社会に地域のきずながあります。ご家庭と地域そして学校が手を取り合って、この奇跡の家族のように、一丸となってお子様の生きる力、生き抜く力を育てていきたいと思えます。

保護者、地域の皆様には、この1学期間、ご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。先日の臨時保護者会の後も、多くの保護者の皆様から応援と励ましのお言葉を賜っております。先日もある生徒さんのお祖母様がわざわざ学校まで足を運んでいただいて、「清瀬中の生徒は皆きちんとあいさつのできる子ばかりでとてもいい学校です。どうか先生方も頑張ってください」と温かいお言葉を頂戴いたしました。本当にありがたいことです。我が清瀬中は、まさしく保護者の皆様、地域の皆様に育まれている学校です。2学期もどうかご支援、ご協力をお願いいたします。

お知らせ 「ユネスコ I I C B A 研修」

今年もアフリカからお客様がお見えになります。これはユネスコが主催するアフリカ諸国の学校の先生の平和教育研修の一環です。今年は8月8日(木)に約30名の使節団が来校する予定です。現在、生徒会や英語部を中心におもてなしや学校紹介、部活動紹介の準備に取り組んでいます。今後はPTAや学校支援本部、青少協、JA清瀬支店の皆様のご協力をいただきながら進めてまいります。



昨年度の集合写真です

お知らせ 学校支援本部アンケート

先日の臨時保護者会の時にお伝えいたしましたように、3年生の生徒、保護者を対象に学校支援本部アンケートを実施いたします。概要につきましては7月6日(土)の進路説明会時に生徒、保護者の皆さんに学校支援本部コーディネーターから説明を行い、その後用紙を配布いたしました。ご協力をよろしくお願いいたします。

赤ちゃんのチカラプロジェクト

6月13日(木)、14日(金)の2日間、3年生を対象に実施しました。生徒は、人形を使って抱き方の練習を行い、そして赤ちゃんを抱きあやしました。生徒からは「可愛い」という声が多く聞かれ、命の大切さを理解することが出来ました。



いじめ防止授業

6月24日(月)に、3年生を対象に実施しました。講師は弁護士さんです。授業は弁護士の仕事内容について説明があり、いじめは人権侵害であり、被害者が悪いことは絶対ないことを学びました。また実際にあったいじめの事例を紹介され、いじめは被害者にも加害者にも心に深い傷を残すことを教えられ、いじめが起こったときに、一人一人の立場でできることを考えることができました。

この事業は、清瀬市の「特色ある学校づくり」予算で実施されました。1、2年生も後日行います。

